

**海外即時年金
入門書
(マニュアル)**

著者：河合 圭

今すぐプリントアウトを

このレポートは非常にボリュームがあります。PCで見ているだけでは非常に目がつかれ、それだけであなたを疲れさせることになってしまいます。

そのため、まずプリントアウトをしてください。そして片手に蛍光ペンを持ってあなたが重要だと思うところをマークして行ってください。

きっとこれを読み終わるころには、蛍光色でいっぱいになっているはずですよ。それがあなたの今後の資産設計にとって大事なところですよ。

この入門書を作った理由・・・

これまでの入門書（マニュアル）で繰り返してきていますが、海外の年金保険の中にも、

- 1) 積立で毎月少しずつ積み立てるもの
- 2) 一括でまとまった資金を入れて金利をつけるもの
- 3) 一括でまとまった資金を入れて金利を付けて年金として受け取るもの

と3種類の資金性に応じた商品があります。
それぞれ・・・

- 1) 積立で毎月少しずつ積み立てるもの

『海外積立年金』

<http://xn--ruqp6i4uehy0abyifxch06cstt.com/manual19/>

2) 一括でまとまった資金を入れて金利をつけるもの

『海外終身年金』 ※死亡保障付き

<http://xn--ruqp6i4uehy0abyifxch06cstt.com/manual110/>

『海外個人年金』

<http://xn--ruqp6i4uehy0abyifxch06cstt.com/manual111/>

『海外養老保険』

<http://xn--ruqp6i4uehy0abyifxch06cstt.com/manual113/>

『海外固定金利年金』

<http://xn--ruqp6i4uehy0abyifxch06cstt.com/manual114/>

3) 一括でまとまった資金を入れて金利を付けて年金として受け取るもの

『海外即時年金』

<http://xn--ruqp6i4uehy0abyifxch06cstt.com/manual115/>

『海外終身年金』

<http://xn--ruqp6i4uehy0abyifxch06cstt.com/manual116/>

そして今回は3)の金利をつけながら年金として受け取る『海外即時年金』を解説します。

仕組み

このプランは、保険料を一括で支払った翌月からすぐに年金を毎月受け取れるものです。

払込方法：一時払のみ

最低保険料：50,000ドル

健康診断：不要

海外渡航：不要

年金の種類は4種類あります。

- 1) 10年確定年金
- 2) 20年確定年金
- 3) 5年保証期間付終身年金
- 4) 払戻保証付終身年金

確定年金とは？

ある年齢の時点から、10年、20年などの一定期間、年金が受取れるものです。もしこの期間中に被保険者が亡くなった場合は、その期間中本来受け取れるはずだった年金は遺族に支払れます。

- 1)、2) がこれにあたります。

5年保証期間付終身年金とは？

ある年齢の時点から一生涯に渡り、生きている間はずっと年金が受取れるものを「終身年金」といいます。現在、日本の平均余命は男性80.98歳、女性87.14歳ですが、今後は医療技術などの進歩により更に長生きが予想されています。健康で長生きすること自体は皆さんにとっても悪いことではないと思いますが、その分お金も必要になるわけですよね？終身年金は、そんな「長生きリスク」に備えるのに適しています。

そして5年間保証がついているというのは、もし年金受取開始から5年以内に被保険者が亡くなった場合、その5年間本来生きていれば受け取れるはずだった年金が遺族に支払れるようになっている、ということです。

例えば月額500ドルを受取っていて、3年後に亡くなってしまった場合は、残りの2年分（500ドル×24ヶ月＝12,000ドル）が遺族に支払われます。

逆に5年以上生きた場合は、生涯に渡って、何歳になっても同じ額を毎月もらい続けることができます。長生きしてもお金の心配はいらないわけですね。

払戻保証付終身年金とは？

ある年齢の時点から一生涯に渡り、生きている間はずっと年金が受取れるものですが、年金受取開始から被保険者が亡くなるまでに受取った年金額が、支払保険料よりも少なかった場合は、その差額が遺族に支払れます。

例えば、一時払保険料が100,000ドル、月額500ドルを受取っていて、10年後に亡くなってしまった場合は、これまでの年金受取総額は（ 500×120 ヶ月=60,000ドル）なので、100,000ドルの差額である40,000ドルが遺族に支払われます。

こちらも同じく生涯に渡って、何歳になっても同じ額を毎月もらい続けることができます。長生きしてもお金の心配はいらぬですね。

どのくらいの年金がもらえるのか？（計算例）

実際に4つの年金種類でシミュレーションしてみましょう。

「年金受取損益分岐点」というのは受け取った年金総額が支払保険料を上回る年月を表しています。

ケース1) 40歳女性、USD100,000（約1100万円）、一時払い

1) 10年確定年金

月額受取：963.74ドル（約10.6万円）

受取総額： $963.74 \times 12 \times 10 = 115,648.9$ ドル（約1,270万円）

受取返戻率：115.6%

2) 20年確定年金

月額受取：582.12ドル（約6.4万円）

受取総額： $582.12 \times 12 \times 20 = 139,708.8$ ドル（約1,540万円）

受取返戻率：139.7%

3) 5年保証期間付終身年金

月額受取：360.53ドル（約4万円）

保証受取額： $360.53 \times 12 \times 5 = 21,631.8$ ドル（約240万円）

受取返戻率：21.6%

87歳受取額： $360.53 \times 12 \times 47 = 203,338.92$ ドル（約2,240万円）

受取返戻率：203.3%

年金受取損益分岐点：23年2ヶ月（63～64歳）

4) 払戻保証付終身年金

月額受取：357.84ドル（約3.9万円）

87歳受取額： $357.84 \times 12 \times 47 = 201,821.76$ ドル（約2,220万円）

受取返戻率：201.8%

年金受取損益分岐点：23年4ヶ月（63～64歳）

※年金受取額が支払保険料を上回る年月

ケース2) 50歳男性、USD100,000（約1100万円）、一時払い

1) 10年確定年金

・月額受取：963.74ドル（約10.6万円）

・受取総額： $963.74 \times 12 \times 10 = 115,648.9$ ドル（約1,270万円）

・受取返戻率：115.6%

2) 20年確定年金

月額受取：582.12ドル（約6.4万円）

受取総額： $582.12 \times 12 \times 20 = 139,708.8$ ドル（約1,540万円）

受取返戻率：139.7%

3) 5年保証期間付終身年金

月額受取：481.53ドル（約5.3万円）

保証受取額： $481.53 \times 12 \times 5 = 28,891.8$ ドル（約320万円）

受取返戻率：28.9%

81歳受取額： $481.53 \times 12 \times 31 = 179,129.16$ ドル（約1,970万円）

受取返戻率：179.1%

年金受取損益分岐点：17年4ヶ月（67～68歳）

4) 払戻保証付終身年金

月額受取：459.34ドル（約5万円）

81歳受取額： $459.34 \times 12 \times 31 = 170,874.48$ ドル（約1,880万円）

受取返戻率：170.9%

年金受取損益分岐点：18年2ヶ月（68～69歳）

※1ドル=110円換算

終身年金で受取る場合、日本人の平均寿命

男性：80.98歳

女性：87.14歳

から見ると、十分に元は取れるということですね。むしろ今後は医療や薬の発達からもっと長生きする可能性が大きいので、その時に生活するお金がなくなってしまうよう「長生リスク」に備えることができます。

また、健康面に不安のある方でも加入できますから、「入院」や「介護」など、どの程度のお金が『いつまで』掛かってしまうのか分からない方にとっては、必ず一生涯受取れる金額がわかるので安心ではないでしょうか。

『海外即時年金保険』の申込手順

1) プランの仕組み、手数料などを理解しましょう。
別途資料がありますので、こちらまでご連絡ください。

<http://k2-assurance.com/contact/>

- 2) 一括で支払う金額と、受取の年金種類を決めてご連絡ください。弊社で試算表をお作りして、この内容でいいか確認してもらいます。
- 3) 契約書類をお送りします（海外への渡航は必要ありません）。以下の必要書類とともにご返送ください。

- ・ **パスポート**

- ・ **住所証明書（運転免許証、3か月以内に発行された公共料金明細、住民票などから1部）**

※健康診断は不要。

- 5) 保険会社の指定する銀行口座へ海外送金。
- 6) 保険証券が届くので、大事に保管しておいてください。

最後に・・・

人生で稼げるお金は限られています。どれだけ稼いでいる方でもただ使いっぱなしで貯蓄していかなければ、結局老後にはコツコツ稼いで消費を我慢してコツコツ貯蓄していた人よりもお金がなかったり、という光景もよく見ます。

そして今、年金をもらっている方ほどの年金が将来もらえないことも、日本の財政状況、人口ピラミッドを見れば疑うこともないでしょう。

であれば、どこかで計画的にお金を貯めて、金利を取って、将来の年金を自分たちで準備しないといけないのです。それが日本でできるんだったら一番「楽」でしたが、残念ながらそれはもう半永久的にできないでしょうから、

その「いつか」を待つよりも、今から、海外で、貯蓄をし、金利をもらうようにしていきましょう。

K2 Assurance

会長 河合 圭

info@k2-investment.com

<http://k2-assurance.com>